

北見市内の中学生を対象に 測量の体験学習を開催

地域貢献の一環として『建設業界に興味を持ってもらうきっかけ』となればと昨年から始めた「測量体験」の課外授業を今年も実施させていただきました。

北見市立小泉中学校の2年生全クラスを対象に測量の日(6月3日)を前に行いました。

各クラス1時限ずつの短い時間でしたが、同校の運動会のコース整備としてTS(トータルステーション)やGNSS(グローバルナビゲーションサテライトシステム)などを使いコースの位置出しを生徒さん個々が機器にふれての実践学習でした。

TS(トータルステーション)を用いた、角度、距離によるコースの位置出し手法では、出したい方向に機器が自動で動作する様に、驚く生徒達、また、遠くの対象物が大きく見えたり、反射鏡での測定ではmm単位での測定が簡単にできてしまうことに、興味津々でした。



実習で使うピンの準備



打ち込んだピン



2年A組の生徒さんたち



クラスを3班に分けて測量体験

GNSS測量機器を用い、人工衛星の電波を受信して行う位置誘導による位置だしでは、誘導される方向に進むことや、アンテナポールを垂直に立てることに四苦八苦しながらも、測量の実践を体験していました。また、最近話題のドローンを用いた測量については、諸事情によりグラウンドで飛行はできませんでしたが、ド



測量機器に興味津々



説明を受ける生徒さん



2年B組の生徒さんたち



「北海道通信」5月17日付掲載記事

下記のQRコードから掲載された記事をご覧ください



ドボク管理のHPにリンク

ローンの機材や運用時の話などを含め、肌寒い中、有意義な時限になったのかなと感じました。

このような機会を与えてくださった校長先生はじめ、教職員の皆様に御礼申し上げます。今年も無事実施出来たことに感謝いたします。



測量体験する生徒さん

測量体験した 生徒さんの感想

『もともと機械的なものに興味がありましたが、今日この測量機器を使った体験学習を機会に測量という仕事に興味をもちました』『楽しかったです。機会があれば是非またやりたいなと思いました』など、うれしい感想をいただきました。



2年C組の生徒さんたち